

住友化学株式会社

製品安全データシート



1 製品及び会社情報

製品名:

住友ノーブレン/エクセレン ノンフィラー

推奨される用途: 樹脂・成型材料

会社名: 住友化学株式会社

担当部署: ポリオレフィン事業部

〒104-8260

東京都中央区新川2丁目27番1号

電話番号: 03-5543-5432

ファックス番号: 03-5543-5995

緊急連絡電話番号:

Asia - Pacific region (excluding China): +65-3158-1074 (CARECHEM24, Singapore)

China: +86-10-5100-3039 (CARECHEM24, Beijing, China)

Europe, Middle East, Africa, Israel (Europe and English Language speaking countries):

+44-1235-239-670 (CARECHEM24, UK)

Middle East/Africa (Arabic speaking countries): +44-1235-239-671 (CARECHEM24, UK)

USA: +1-800-424-9300 (CHEMTREC, USA)

2 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性/引火性ガス	分類対象外
	可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性/酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入-ガス)	分類対象外
	急性毒性 (吸入-蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入-粉じん及びミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない

	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

該当しない

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名または一般名	官報公示整理番号		CAS番号	濃度
	化審法	安衛法		
プロピレンホモポリマー	(6)-402	(6)-402	9003-07-0	} >97%
EP ランダムコポリマー	(6)-10	(6)-10	9010-79-1	
PBランダムコポリマー	(6)-1524	(6)-1524	29160-13-2	
EP ブロックコポリマー	(6)-10	(6)-10	9010-79-1	
EPBランダムコポリマー	(6)-1523	(6)-1523	25895-47-0	
その他添加剤				<3%

危険有害成分:

該当しない

4 応急措置

吸入した場合:

被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行う。鼻、口、喉を水でゆすぐ。体を毛布などで覆い、保温する。直ちに医師の診断/手当てを受けること。もし嘔吐が起これば、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。

皮膚に付着した場合:

直ちに汚染された服と靴を取り除く/脱ぐ。多量の水と石鹸でやさしく洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。火傷（溶融した製品あるいは加熱した製品と接触した場合）: 患部を直ちに大量の冷水に浸けるか、大量の水で洗い流し、熱を放散させる。洗いながら患部に付着していない衣服を取り除く。清潔な木綿布またはガーゼで覆う。直ちに医師の診断/手当てを受けること。

目に入った場合:

できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断/手当てを受けること。眼を擦ってはならない。まぶたを開いた状態に保つ。火傷（溶融した製品あるいは加熱した製品と接触した場合）: 患部を直ちに大量の冷水に浸けるか、大量の水で洗い流し、熱を放散させる。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。体を毛布などで覆い、保温する。直ちに医師の診断/手当てを受けること。もし嘔吐が起これば、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行う。

応急措置をする者の保護:

指定された個人用保護具を使用すること。

5 火災時の措置

消火剤:	初期火災: 粉末消火剤, 二酸化炭素, 乾燥砂, 散水, 耐アルコール泡 大規模火災: 散水, 水噴霧, 泡消火剤
使ってはならない消火剤:	データなし。
火災時特有の危険有害性:	引火性・可燃性である。熱、機械火花、静電気火花、裸火などの着火源で容易に着火するおそれがある。粉末や粉じんは空気と爆発性の粉じん雲を生成することがある。加熱により発生する分解ガスは空気と爆発性混合気を形成する可能性がある。溶融した物質/製品との接触により皮膚や眼に激しい火傷を起すおそれがある。火災時に燃焼性または／および有害なガスを発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。粉末、粉じん、削り屑、切り屑、または裁断くずは、爆発または激しく燃焼するおそれがある。加熱により容器が爆発するおそれがある。漏洩物や消火水は水系汚染のおそれがある。消火後に再度発火するおそれがある。混触危険物質と接触すると火災や爆発の危険性がある。
特定の消火方法:	可能であれば、保護された位置から消火する。風上から作業する。火災発生場所周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。もし可能であれば、熱にさらされた容器を移動するか、または水で冷却する。大規模火災では場合によって、火災区域から避難し、そのまま燃焼させる。高圧の流水を使って漏出物を飛散させない。消火に用いた水は堰を作って囲い、後で廃棄する。物質がちらばらないようにする。消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護:	各国、地域で規定された標準の全身保護衣および空気式呼吸器(SCBA)を着用する。各国、地域で規定された標準の全身保護衣であっても、熱および有害な蒸気や液体に対し限られた防御しかできない点に留意して消火活動を行うこと。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	作業時に保護具を着用すること。作業時に使用する個人用保護具については「8. 暴露防止および保護措置」を参照。全ての方向に適切な距離をとり、漏洩区域への立ち入りを禁止する。流出物質に触ったり、踏んだりしない。
緊急処置:	防災活動に無関係な全ての人々を風上側に遠ざける。専門家に相談する。周辺の居住者に警告する。水路では航行を遮断する。大きな安全地帯を設定する。
環境に対する注意事項:	漏洩物および漏出物処理時の廃液が、排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所へ流入するのを防ぐ。環境中に放出しない。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	全ての着火源(熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電、等)を取り除く! 少量の場合、固体／粉体漏出物を掃き集めて密閉式の容器に移す。専門家に相談する。防爆型の電気設備および照明設備を用いる。危険でなければ漏れを止める。清浄な火花防止型の道具を使用する。飛散したものを掃き集めて密閉式の容器に移す。飛散防止のため微粉の捕集には粉じん防爆タイプの集じん機を使用する。適切ならば粉体の飛散防止のためにまず湿らせる。廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。

二次災害の防止策: 全ての設備でのアースやボンディングなどの使用、作業者の作業服や静電靴着用など静電気帯電を防止する。適切な消火剤を準備する（「5. 火災時の措置」を参照）。粉じん雲の発生や粉じんの堆積を防ぐ。大量の場合、風下に適切な避難距離をとる。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策:

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。全ての着火源を取り除く！粉じんが発生する場所では、密閉系で取り扱う。粉じん雲の発生や粉じんの堆積を防止する。粉体、粉じんや削り屑、切り屑等の加工屑を吸入しない。静電気放電による粉じん爆発防止のために、密閉系での不活性ガス（窒素など）置換や爆発放散設備の設置を推奨する。開放系で取り扱わざるを得ない場合、不活性化できない配管、ダクト、ホッパー等の設備は絶縁ライニングまたは絶縁コーティングを使用せず、アース等の静電気対策を確実に行うこと。粉じんが発生する場合は、粉じん防爆型の電気機器/換気装置/照明設備/装置を用いる。静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。より詳細な粉じん爆発対策について専門家に相談すること。すべての接触を避けること！

局所排気・全体換気:

局所排気、全体換気を行う。（「8. 暴露防止及び保護措置」参照）

注意事項:

設備対策を行い、保護具を着用する。（「8. 暴露防止及び保護措置」参照）

安全取扱い注意事項:

取り扱い後に手や顔等を良く洗うこと。取り扱う場所での飲食と喫煙を禁止する。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管:

技術的対策:

熱/火花/裸火/高温表面のような着火源から遠ざけること。禁煙。容器を密閉する。

適切な保管条件:

各国、地域の法律等に従った適切な方法で全体をよく換気する。直射日光を避ける。耐火設備を備えた場所に保管する。混触危険物質から離して保管する。食料や飼料から離して保管する。（「10. 安定性及び反応性」を参照。）

安全な容器包装材料:

容器包装材内面は静電気帯電防止を施したものを使用する。フレコン、紙袋、樹脂袋。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策:

粉体製品を取り扱う場合は、密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。粉じんの発生する作業には局所または全体排気装置を取り付ける。作業には呼吸用保護具および保護衣を着用する。換気設備の機能の低下等の緊急時および漏洩時（粉じん雲の発生など）の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器（SCBA）を着用する。個人用保護具（PPE）は、必ず、使用地域で定められた規格に合致したものを使用する。粉じん爆発危険の回避のための設備および操作の管理を行う。「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。取り扱い場所に、洗眼設備や手や全身の洗浄設備を設ける。静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。

許容濃度:

化学名または一般名	基準	規制濃度	規制法規等 (最新改訂年月)
第3種粉じん	TWA	吸入性粉じん 2mg/m ³ 総粉じん 8mg/m ³	日本産業衛生学会 (2011年5月)

保護具 (PPE) :

呼吸器の保護具:

呼吸用保護具は、必ず、使用地域で定められた規格に合致したものを使用する。換気設備の機能の低下等の緊急時および漏洩時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器 (SCBA) を着用する。

手の保護具:

手の保護具は、必ず、使用地域で定められた規格に合致した不浸透性保護手袋を使用する。

目の保護具:

眼の保護具は、必ず、使用地域で定められた規格に合致した安全ゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具:

個人用保護具 (PPE) は、必ず、使用地域で定められた規格に合致した帽子、靴等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。作業服および作業靴は静電気帯電防止のものを使用する。

衛生対策:

吸入しない。皮膚および眼との接触を避ける。作業中は飲食、喫煙をしない。製品の取り扱い後および飲食の前にはよく手や顔を洗淨する。粉塵を発生させないこと！

9 物理的及び化学的性質

製品のデータがない場合は成分のデータを記載しています。

物理的状态:

ペレット

色:

白

臭い:

無臭

pH:

データなし。

融点:

> 125 °C

沸点:

データなし。

引火点:

データなし。

自然発火温度 (発火点) :

490 °C

燃焼限界—上限 (%) —:

データなし。

燃焼限界—下限 (%) —:

データなし。

蒸気圧:

データなし。

蒸気密度 (Air=1):

データなし。

比重:

880-920 kg/m³ (グレードにより異なる)

溶解度 (水):

水には不溶解

溶解度（その他）:	データなし。
n-オクタノール／水分配係数:	データなし。
分解温度:	データなし。
蒸発率:	データなし。

10 安定性及び反応性

安定性:	常温、常圧で安定。
危険有害反応可能性:	強酸化剤 強酸 : 火災や爆発の危険 この製品の粉体は爆発性の粉じん雲を形成するおそれがある。
避けるべき条件:	裸火、火花、熱、高温表面、静電気放電などのような着火源 混触危険物質 静電気
混触危険物質:	強酸化剤, 強酸
危険有害な分解生成物:	炭化水素（ポリマー製品にあつてはモノマーガス）, 火災時に含有無機フィラーが煙やヒュームに含まれるおそれがある。一酸化炭素, 二酸化炭素, すず

11 有害性情報

製品のデータがない場合は成分のデータを記載しています。

急性毒性:	
経口:	データなし。
プロピレンホモポリマー	マウス : LDLo > 8,000 mg/kg ラット : LD50 > 8,000 mg/kg
経皮:	データなし。
吸入:	データなし。
皮膚腐食性/刺激性:	データなし。
プロピレンホモポリマー	ヒト (ボランティア試験): 刺激性なし
PB コポリマー	ウサギ (皮膚刺激性/腐食性試験): 軽度の刺激性あり
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:	データなし。
PB コポリマー	ウサギ (眼刺激性/腐食性試験): 軽度の刺激性あり
呼吸器感作性/皮膚感作性:	データなし。
プロピレンホモポリマー	ヒト 皮膚感作性 (ボランティア試験): 感作性なし
PB コポリマー	モルモット 皮膚感作性 (アジュバント&パッチ法): 感作性なし
生殖細胞変異原性:	
in vitro:	データなし。
in vivo:	データなし。
発がん性:	データなし。

化学名または一般名	IARC	日本産業衛生学会
プロピレンホモポリマー	グループ: 3	未評価

生殖毒性:	
催奇形性:	データなし。
繁殖性:	データなし。
特定標的臓器毒性（単回暴露）:	データなし。
特定標的臓器毒性（反復暴露）:	データなし。
吸引性呼吸器有害性:	データなし。
その他の影響:	データなし。

12 環境影響情報

製品のデータがない場合は成分のデータを記載しています。

生態毒性:	
水生生物:	
急性毒性:	
魚類:	データなし。
甲殻類:	データなし。
藻類:	データなし。
慢性毒性:	
魚類:	データなし。
甲殻類:	データなし。
藻類:	データなし。
その他:	
	データなし。
生分解性:	データなし。
生物蓄積性:	データなし。
n-オクタノール／水分配係数:	データなし。
オゾン層への有害性:	データなし。

13 廃棄上の注意

一般情報:	報告対象化学物質なし
廃棄方法:	国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物/容器を適切に廃棄すること。 本製品は廃棄物処理法に基づいて産業廃棄物と分類されます。本法および地域の条例に基づいて廃棄して下さい。

14 輸送上の注意

国際規制:	本製品は輸送規制の対象ではない。
-------	------------------

国内規制:	国内法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件:	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

15 適用法令

化学物質排出把握管理促進法:	
特定第一種指定化学物質:	該当しない
第一種指定化学物質:	該当しない
第二種指定化学物質:	該当しない
労働安全衛生法:	
通知対象物質(第57条の2):	該当しない
表示対象物質(第57条):	該当しない
変異原性が認められた届出物質(第57条の3):	該当しない
毒物及び劇物取締法:	
特定毒物:	
法:	該当しない
政令:	該当しない
毒物:	
法:	該当しない
政令:	該当しない
劇物:	
法:	該当しない
政令:	該当しない
消防法:	指定可燃物(合成樹脂類) 火災予防条例準則第34条
廃棄物の処理及び清掃に関する法律:	法第2条第4項、施行令第2条の1 産業廃棄物。
高圧ガス保安法:	
高圧ガス、第2条:	該当しない
化審法:	
第1種特定化学物質:	該当しない
第2種特定化学物質:	該当しない
監視化学物質:	該当しない
優先評価化学物質:	該当しない
海洋汚染防止法:	プロピレンホモポリマー

16 その他の情報

免責条項:	記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
-------	--

製品安全データシート

製造者情報

会 社：株式会社 P R D
住 所：大阪府東大阪市池島 4 丁目 3 - 4 1
電話番号：072-984-3154 FAX：072-987-2013
作成 2016年10月24日

整理番号：

【製品名】：ブラック MB 3 B K - 9 2 0 0

【物質の特定】

単一製品・混合物の区別：混合物
化学名・一般名称：マスターバッチ
成分及び含有量：カーボンブラック
ステアリン酸亜鉛
ポリエチレン

化学構造式：開示せず
化審法番号：既登録
C A S N O：登録あり
国連分類：該当せず
ポリオレフィン等衛生
協議会 P L リスト：登録あり

【危険性有害性の分類】

分類の名称：分類基準に該当しない。
危険性：消防法では非危険物であるが、粉塵爆発の危険性があるとされている。

【応急措置】

目にはいった場合：直ちに流水で十分に洗眼した後、医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合：付着部を水または石鹼水で洗い流す。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
飲み込んだ場合：口の中をよく洗浄した後、医師の診察を受ける。

【火災時の措置】

消火の方法：消火作業は風上から行う。火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火剤：水の噴霧、泡沫、炭酸ガス、粉末消火器。

【漏出時の措置】

：粉塵が飛散しない方法で回収する。
：箒、真空で吸い取るなどにより空容器に回収する。その後多量の水を用いて洗い流す。この時、濃厚な廃液が河川などに排出しないように注意する。

【取り扱い及び保管上の注意】

- 取り扱い : 粉塵が立たないように作業する。
吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣服に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
粉塵爆発を防ぐため、粉塵濃度の高い貯槽内などでは、スパークなど、発火源のないよう注意する。
静電気対策のために装置、機器などの接地を確実に行う。
- 保管 : 高温をさけ、水濡れに注意して屋内に保管する。
使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
保管の際は直射日光をさけ、高温物を避ける。

【暴露防止措置】

- 管理濃度 : 設定なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会（1993年版） 吸入性粉塵0.5mg/m³
総粉塵 4 mg/m³
ACGIH （1996年度版）TWA5mg/m³（吸入する可能性がある粉塵として）
10mg/m³（全粉塵として）
- 設備対策 : 粉塵が作業場を汚染しないように、局所排気装置及び集塵装置または、設備の密閉化等を適正に行うことが望ましい。
- 保護具 : 呼吸用保護具；防塵マスク
保護メガネ ；ゴーグル等
保護手袋 ；ゴムまたはプラスチック製手袋
保護衣 ；作業着

【物理・化学的性質】

- 外観等 : 粒状 臭気 : なし
- 比重 : データーなし 沸点 : データーなし
- 融点 : データーなし
- 蒸気圧 : なし
- 溶解度 : 水に不溶

【有害性情報】

- 皮膚腐食性 : 配合組成物の中に記載事項なし。
- 刺激性（皮膚、眼等） : 配合組成物の中に医学的知見なし。
- 感作性 : データーなし
- 急性毒性 : LD50（経口、ラット） >5000mg/Kg
- 亜急性毒性 : 知見なし
- 慢性毒性 : 知見なし
- がん原性 : 知見なし
- 変異原性（微生物、染色体異常） : 知見なし
- 生殖毒性 : 知見なし
- その他

【危険性情報】

- 引火点 : データーなし

発火点	: 306℃のものがふくまれる。
安定性・反応性	: 通常の保管状態では安定
熱分解温度	: データーなし

【環境影響情報】

分解性	: データーなし
蓄積性	: データーなし
魚毒性	: データーなし
その他	:

【輸送上の注意】

: 容器が破損しないように乱暴な取り扱いをしない。
吸湿に注意する。

【廃棄上の注意】

: 内容を明確にした上で産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

【適用法令】

消防法	: 非該当
安衛法	: 非該当
P R T R 法	: 非該当
毒劇物法	: 非該当
廃棄物処理法	: 一般産業廃棄物
その他	

【その他】

※ お問い合わせ ※

1. 本「製品安全データーシート」は、当社の製品を安全にご使用していただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常的な取り扱いを対象としたものです。
2. ほん品の使用方法については、「製品安全データシート」を参照の上、使用者の責任においてお決めください。
3. ここに記載された内容は当社所有の情報による物ですが、情報の完全さを保証するものではありません。また、内容は法令の改正及び新しい知見により改正される事もあります。
4. 記載内容のうち、含有量、構成比率、物理化学的性質などの値は、保証値ではありません。

作成日: 2005年06月30日

改訂日: 2016年04月01日

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: セメダイン HM622-10

製品番号(SDS NO): GJ1469-10

供給者情報詳細

供給者: セメダイン株式会社

住所: 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

担当部署: 環境安全衛生部

電話番号: 03-6421-7413

FAX: 03-6421-7416

緊急連絡先電話: 03-6421-7413

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

強い眼刺激

3. 組成及び成分情報

注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 容器を密閉しておくこと。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱後はよく手を洗うこと。
 環境への放出を避けること。

【応急措置】

火災の場合には適切な消化方法をとること。
 飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
 衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
 漏出物は回収すること。

【保管】

涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【応急処置】

使用時において、目、皮膚に刺激を感じたり、吸入して体に異常を感じた場合には、医師の診断、手当てを受けること。

単一製品・混合物の区別：

混合物

化学的特定名：合成ゴム系ホットメルト接着剤

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
合成ゴム	35-45	非公開/未登録	非公開/未登録
石油樹脂	55-65	非公開/未登録	非公開/未登録

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

常温で蒸気は発生しない。加熱溶融時に発生する蒸気を大量に吸入した場合は、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、必要に応じ医師の診察を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

加熱溶融状態の製品が皮膚に付着した場合は、直ちに流水で冷却し、火傷に対する医療処置を行う。

眼に入った場合

加熱溶融状態の製品が目に入った場合は、直ちに水で冷却し、眼科医の手当てをうける。

目をこすったり無理に開けさせてはならない。

飲み込んだ場合

生理学的には不活性であり、消化されずに排泄される。異常を感じるようであれば、医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消化方法

水散布、粉末消火器、炭酸ガス消火器、乾燥砂、泡消火剤等を用いる。

大規模火災の場合、溶融した製品に水散布すると、熱水又は溶融した製品が飛び散ることがあるので、この場合は泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。消火作業は保護具を着用して風上から行う。消火後は製品の内部が冷却されるまでロープを張り、人の立ち入りを禁止する。

適切な消火剤

水、粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、泡、乾燥砂が有効である。

6. 漏出時の措置

除去方法

加熱溶融した製品が漏出した場合は、冷却してから取り除く。溶融状態で回収する必要がある場合は、保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

換気の良い場所で行う。容器を転倒、落下、衝撃等、粗暴な取り扱いをしない。専用の溶融機器、塗布機器を使用し、火傷防止の措置をとる。溶融温度は、製品説明書に示す使用温度範囲内とする。

保管

冷暗所に保管する。開封した使用中の包装容器にゴミ、水などが入らないようにする。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適切に行うことが望ましい。

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度データなし

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスク

手の保護具

ゴム手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣、安全靴を着用する。

衛生対策

作業中は飲食、喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：固体

色：淡黄色

引火点：200℃以上

比重/密度: 0.92g/cm³(20℃)

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果データなし

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)データなし

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性データなし

水溶解度データなし

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、特別管理産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物で、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託する。使い切った後の容器は、接着剤が乾燥固化していれば、産業廃棄物の金属くずと廃プラスチック類の混合物になる。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

特別の安全対策

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。
消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

可燃性固体類(指定数量3000kg)

化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

十分な情報が得られなかった成分については、全ての項目を分類できないとしております。

2016年6月1日改正の労働安全衛生法に則して作成されたものです。ただし、有害性情報につきましては、現時点における弊社の最善の知識をもって、通常可能な範囲で調査した結果に基づくものです。



JAMP MSDSplus

MSDSplusに関する情報

使用書式		Ver.4.1
物質リストバージョン		4.060
GPシートID		9999999999999999
シート整理番号		1469
初版	発行日付	2016-10-27
改訂	改訂日付	
	改訂履歴	1

1. 製品情報

製造者会社名		セメダイン株式会社
製品名		HM622-10
発行者型番	英字表記	HM622-10
	母国語表記	
	一般商品名	合成ゴム系ホットメルト接着剤

2. 発行者会社情報

会社名	英字表記	CEMEDINE CO.,LTD.
	母国語表記	
会社ID	登録機関ID	
	会社ID	
発行部門	部門名	環境安全衛生部
	住所	茨城県古河市下大野2184
	電話番号	0280-92-4518
	FAX番号	0280-92-1947
	メールアドレス	emg@cemedine.co.jp
作成部門	部門名	環境安全衛生部
	電話番号	0280-92-4518
追加情報		現時点での弊社の最善の知識による通常可能な範囲の調査結果に基づきます。

3. 製品中の管理対象物質情報

製品中の管理対象物質情報に関する宣言	0.本製品は下記の管理対象基準に掲載される管理対象物質を含有しません
--------------------	------------------------------------

注1 製品を構成する物質のうち、対象管理基準の管理対象物質となっている物質が含有されている(「意図して添加している」または「なんらかの方法で含有が既知である」)

という情報がある場合は「1(または含有時の記号)」と記載しています。

但し「1(または含有時の記号)」の場合でも必ずしも法規制対象とはなりません。用途や使用条件等によりしますのでご確認ください。

注2 下記内容について、補足説明がある場合は記載しています。

注3 その他、詳細については「JAMP MSDSplus作成の手引き」及び「JAMP管理対象物質解説書 及びJAMP管理対象物質説明書」をご参照ください。

注4 当社は、本MSDSplusに記載してある事項については十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

物質名	CAS番号	最大含有率	備考 注2	管理対象基準 注1											
				JP	JP	JP	EU	EU	EU	EU	EU	OT	IA	IA	
				01	02	03	01	02	03	04	05	06	01	01	02

4. 管理対象基準の詳細

管理対象基準名		制定・改訂
JP01	化審法(第一種特定化学物質)	2016/04/01
JP02	安衛法(製造等禁止物質)	2007/09/07
JP03	毒劇法(特定毒物)	2007/08/15
EU01	RoHS指令	2011/65/EU
EU02	ELV指令	2011/37/EU
EU03	CLP [Annex VI Table 3.2 CMR-cat. 1,2]	(EU)2015/1221
EU04	REACH Annex XVII [除: CLP Annex VI Table 3.2 CMR-cat. 1,2]	(EU)2016/217
EU05	REACH 認可対象候補物質(SVHC)	2016/06/20
EU06	POPs Annex I	(EU)2016/293
OT01	ESIS PBT [Fulfilled]	2008-10-28
IA01	GADSL	2016 GADSL Reference List Version 1.1
IA02	IEC62474/JIG	IEC62474 D12.00



安全データシート

作成日 平成16年 6月 7日

改訂日 平成28年 3月12日

1. 製品及び会社情報

製品名（化学名、商品名）

キセパ

会 社

マルウ接着株式会社

住 所

愛媛県四国中央市下柏町 780

担当部門

本社 技術部

担当者（作成者）

毛利 健一

電話番号

0896(24)3291

FAX 番号

0896(24)2528

2. 危険有害性の要約

GHS 分類：分類該当外

分類の名称：分類基準に該当しない

危険性：可燃物

有害性：なし

環境影響：資料なし

3. 物質の特徴

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：紙（加工紙）

成分：パルプ、染料、ホリェリン、サイバ剤、化工澱粉、シリコン、硫酸アルミニウム等

化学式または構造式：

官報公示整理番号（化審法、安衛法）該当せず

CAS No. 該当せず PRTR 法指定化学物質は規制値以上含有していません。

4. 応急措置

本製品は危険有害物質に該当しないが、誤った使用法により考えられる事項に対する
応急措置を以下に示す。

目に入った場合：危険な物質ではないが、眼に入った場合は直ちに清浄な水で
最低15分間洗浄したあと、すぐに眼科医の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：水又は微温湯で洗浄する。皮膚にかぶれ、痛み等がある場合
直ちに医者の手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努め直ちに医者
の手当てを受けること。

飲み込んだ場合：危険な物質ではないが、清浄な水で口の中をよく洗浄する。

可能であれば指で吐き出させ、直ちに医者の手当てを受けること。

5．火災時の措置

消火方法：燃焼源を断ち、風上から消火剤を使用して消火する。可燃物を速やかに安全な場所に移す。消火作業の際は必ず保護具を着用する。

消火剤　：水、泡、CO₂、ドライケミカル

6．漏出時の措置

特に必要なし

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い：衝撃は避けてください。

保　管：極端な高温多湿、低温は避けて下さい。理想的には温度 10～30℃、湿度 70%RH 以下で保管して下さい。又、水分、薬品等が付かない様に保管して下さい。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度：設定なし

許容濃度：設定なし

設備対策：特に必要なし

保護具　　呼吸用保護具：特に必要なし

保護眼鏡：特に必要なし

保護手袋：特に必要なし

保護衣　　：特に必要なし

9．物理的・化学的性質

外観等：　シート状固体

沸　点：該当なし

蒸気圧：該当なし

揮発性：該当なし

融　点：該当なし

比重又は嵩比重　：約 0.81g/cm³

初留点：該当なし

溶解度　水：不溶

その他： -

10．安定性及び反応性

引　火　点：約 230℃（木材繊維）

発　火　点：約 450℃（木材繊維）

爆発限界

上限：知見なし

下限：知見なし

可　燃　性：あり

発火点（自然発火性、水との反応性）：なし

自己反応性・爆発性：現在のところ知見なし

粉じん爆発性：現在のところ知見なし

安定性・反応性：現在のところ知見なし

その他：

1 1 . 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性：現在のところ知見なし

刺激性（皮膚・目）：現在のところ知見なし

感 作 性：現在のところ知見なし

急性毒性（50%致死量等を含む）：現在のところ知見なし

亜急性毒性：現在のところ知見なし

慢性毒性：現在のところ知見なし

癌 原 性：現在のところ知見なし

変異原性（微生物・染色体異常）：現在のところ知見なし

生殖毒性：現在のところ知見なし

催奇形性：現在のところ知見なし

その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）：現在のところ知見なし

1 2 . 環境影響情報

分 解 性：現在のところ知見なし

蓄 積 性：現在のところ知見なし

魚 毒 性：現在のところ知見なし

そ の 他：現在のところ知見なし

1 3 . 廃棄上の注意

埋め立てるときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、公認の産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行なっている場合にはその団体に委託処理する。なお、焼却するときには焼却設備を用い、大気汚染防止条例などの諸法令に適合した処理を施して焼却する。

1 4 . 運搬上の注意

運搬に関しては、転倒、落下、損傷、汚れ等がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行なう。

1 5 . 適用法令 ： 消防法 指定可燃物

1 6 . その他（記載事項の問い合わせ先、引用文献等）

特になし